

3 議事 第2次佐伯市水産振興計画に基づく事業の進捗について

基本施策1 海面・内水面漁業の振興

個別施策1-(1) 漁場環境の整備と保全(P12)

【目標値】

取組状況	現状値	目標値（下段は実績）		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
増殖場造成面積	0㎡/年	0㎡/年	0㎡	8,000㎡
	—	—	—	8,000㎡（見込）
藻場保全活動の実施面積	208.8ha	220ha	220ha	220ha
	208.8ha	218.5ha	266.0ha	

【重点取組】水産資源の維持増大を図るため、市内各海域の特性に合わせた増殖施設の整備に取り組めます。

取組項目	
・コンクリートブロックや自然石などを設置して藻場を造成し、更に種苗を放流することによりアワビ、サザエなどの磯根資源の漁場を造成します。また、魚類などの資源増大を図るため、餌料培養機能を備えた構造物（増殖礁）を設置します。	
計画	実施状況・成果
・蒲江地区増殖場の本工事（4,000㎡） ・上入津地区増殖場の本工事（4,000㎡） ・下入津地区における増殖場本工事実施に向けての調整。（R6 測量調査・R7 本工事）	1 蒲江地区増殖場【水産環境整備事業】 ・契約：R6.9月 ・工事期間：R6.9月～R7.3月 ・増殖場：4,000㎡ ※沈設完了 2 上入津地区増殖場【水産環境整備工事】 ・契約：R6.7月 ・工事期間：R6.8月～R7.3月 ・増殖場：4,000㎡ ※沈設完了 3 下入津地区増殖場【測量設計委託】 ・契約：R6.8月 ・業務期間：R6.8月～R7.3月 ※調査終了



【重点取組】漁場環境保全のため、磯焼け対策事業に取り組みます。

取組項目	
・藻場の回復を図るため、磯焼けの原因である食害生物（ウニ類、魚類）の駆除、母藻の設置、モニタリング等の活動を市内５つの活動組織が中心となり実施します。	
計画	実施状況・成果
4月～3月、市内５つの活動組織が食害生物除去、母藻設置、岩盤清掃、モニタリング等を実施する。 【活動組織】 佐伯湾・米水津・入津・蒲江・名護屋の５つの活動組織	4月～3月、市内５つの活動組織が食害生物除去、母藻設置、岩盤清掃、モニタリング等を実施した。 【活動組織】 佐伯湾・米水津・入津・蒲江・名護屋の５つの活動組織



食害生物の駆除



母藻の設置

個別施策1-(2) 種苗放流と適切な資源管理 (P13)

【目標値】

取組状況	現状値	目標値（下段は実績）		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
魚市場における放流効果調査	7魚種	7魚種／年	7魚種／年	7魚種／年
	7魚種	7魚種／年	7魚種／年	7魚種／年
調査結果の報告・検討会議開催	0回	1回	1回	1回
	0回	1回	1回	1回

【重点取組】効果的な種苗放流に取り組みます。

取組項目	
・アワビ、イサキ、マダイ、カサゴなどの主要な栽培漁業種について、適地放流を推進し放流効果の向上に取り組みます。	
計画	実施状況・成果
R6 年度放流計画 アワビ 65,628 個 イサキ 148,134 尾 マダイ 38,302 尾 カサゴ 33,784 尾	R6 年4月～9月放流実績 アワビ 65,628 個 放流済み。 イサキ 148,134 尾 放流済み。 マダイ 38,302 尾 放流済み。 カサゴ 33,784 尾 放流済み。
取組項目	
・クルマエビに関しては、「囲い網放流」や「かぶせ網放流」などの馴致放流により生存率の向上に努めます。	
計画	実施状況・成果
・8～9月、米水津地先において、囲い網を用いてクルマエビ種苗を放流する。 ・8月～9月、番匠川河口において、かぶせ網放流を用いてクルマエビ種苗を放流する。	・8月23日～9月13日、米水津地先において、囲い網を用いてクルマエビ種苗 774,251 尾を放流した。 ・9月2日～9月11日、番匠川河口において、かぶせ網を用いてクルマエビ種苗 593,056 尾を放流した。
取組項目	
・内水面漁業では、アユ、エノハ、ウナギ、モクズガニなどの種苗放流を実施し、あわせてカワウ防除活動を行い、資源繁殖保護に取り組みます。	
計画	実施状況・成果
内水面3漁協において、アユ、エノハ、モクズガニ、ウナギの放流を行う。 番匠川漁協にてカワウ防止対策のテグス張りを実施する。	3漁協とも、放流完了 ・アユ 210,000尾 放流済み ・ウナギ 3,800尾 放流済み ・エノハ 9,977尾 放流済み。 ・モクズガニ 1,400匹 放流済み 番匠川漁協ではテグス張り等を実施。食害防止を図った。

【重点取組】効果的な種苗放流に取り組みます。

取組項目	
放流効果を確認するため、標識を付けた種苗を放流するとともに、市場で水揚げされた漁獲物の調査を実施します。	
計画	実施状況・成果
トラモアタグ（改良型）を装着したクルマエビ種苗を放流する。	- トラモアタグ（改良型）を装着したクルマエビ種苗6,000尾を放流した。 - 放流効果を推定するための市場調査を実施中（葛港市場、鶴見市場）。
取組項目	
調査結果を栽培漁業や資源管理に生かすための話し合いを行い、適切な栽培漁業や資源管理の推進に取り組みます。	
計画	実施状況・成果
佐伯湾栽培漁業推進協議会において放流手法の改善点について協議する。	4月22日、佐伯湾栽培漁業推進協議会において種苗サイズについての検討を行ったが、費用対効果の観点から例年通りのサイズで放流した。



橙色のタグを装着し、放流効果を測定

基本施策2 養殖業の振興

個別施策2-（1） 養殖環境の維持・改善 （P15）

【目標値】

取組状況	基準値	目標値（下段は実績）		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
作れい距離（累計）	-	427m	1,058m	1,743m
	-	427m	1,054m	2,607m
覆砂面積（累計）	-	3,3万㎡	5,2万㎡	7,1万㎡
	-	3,3万㎡	6.1万㎡	9万㎡
赤潮被害件数（経営体）	10件	4件	4件	3件
		4件	4件	2件
消波堤の機能保全工事（累計）	-	116m	165m	226m
	-	64m	127m	162.5m

【重点取組】赤潮被害を軽減する海域づくりに取り組みます。

取組項目	
・閉鎖性海域の湾口部を作れいし、外洋との海水交換を促進することで水質改善に取り組みます。	
計画	実施状況・成果
11～3月に浚渫工事を下入津側及び上入津側で実施する。 【工事計画】 R4.5.6 下入津側 1,480m R6.7 上入津側 1,580m	11月～12月に下入津側を446m、1月～3月に上入津側を1,107mの浚渫工事を実施した。

取組項目	
・作れい土砂を底質が悪化した海底に覆砂することで、底生生物の生育が可能となります。生産性の高い漁場環境づくりに取り組みます。	
計画	実施状況・成果
11～3月に覆砂を1.9万㎡実施する。	11～3月に覆砂を2.9万㎡実施した。

個別施策2-（1） 養殖環境の維持・改善 （P15）

【重点取組】赤潮監視体制の強化に取り組みます。

取組項目	
・県、市が一体となって赤潮調査を実施するとともに、赤潮初期発生に設置した赤潮自動観測装置の迅速な情報共有により赤潮被害軽減に取り組みます。	
計画	実施状況・成果
・赤潮調査を実施する。 ・赤潮調査や赤潮自動観測装置で取得したデータの情報提供を行う。	・随時、県、漁協と連携し、海水採取による赤潮調査を実施、インターネットサイトやFAXを利用した調査結果の情報共有や、赤潮自動観測装置の情報提供を行っている。

取組項目	
・陸上及び沖合養殖イカダに水温、溶存酸素、クロロフィル等の水質が把握できるICT 機器を設置し、赤潮監視の強化に取り組みます。	
計画	実施状況・成果
・入津湾に ICT 機器を2基設置（5年度） 畑野浦楠本地先 竹野浦河内湾内	R6 年 2 月に 2 基設置し、現在運用中。 畑野浦楠本地先 竹野浦河内湾内

【重点取組】養殖場の整備及び維持・管理に取り組みます。

取組項目	
・安心して養殖できる環境づくりのため、消波施設、浮消波施設などの維持管理に取り組みます。	
計画	実施状況・成果
・屋形島工区消波堤の機能保全工事を実施する。 ・大島の浮消波施設の機能点検を実施する。	・県営工事により屋形島工区消波堤の機能保全工事 35.5mを実施予定。 ・大島の浮消波施設の機能点検を R6.9月実施した。（市から JF 鶴見支店に業務委託）

取組項目	
・養殖施設の機能保全のため、方塊の改修、機能が低下した施設の整備に取り組みます。	
計画	実施状況・成果
・国庫補助事業（沿構）による令和7年度の整備に向けて、県漁協上入津支店と調整を行う。	・国庫補助事業（沿構）において令和8年度に方塊の整備に向けた要望を提出済み。

個別施策２－（２） 養殖経営の改善 （P16）

【目標値】

取組状況	基準値	目標値（下記は実績）		
	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
ICT 活用型自動給餌機整備（累計）	—	—	５基	１０基
	—	—	０基（リース使用５期）	
かぼすブリ生産量	５１４ｔ	１２７ｔ	５４６ｔ	５６３ｔ
	５１４ｔ	１３９ｔ	３０７ｔ	
かぼすヒラメ生産量	４９ｔ	５０ｔ	５９ｔ	６５ｔ
	４９ｔ	５２ｔ	５５ｔ	
フィレ加工尾数	６９万尾	６５万尾	６５万尾	１００万尾
	６９万尾	４６万尾	７６万尾	

【重点取組】 ICT などの新技術を活用した養殖業を推進し、養殖業の経営力強化に取り組みます。

取組項目	
マダイ、シマアジの ICT 活用型自動給餌機など、養殖における ICT 技術の実証を進め、スマート水産業を目指します。また、生産工程の自動化によるコストカットで養殖業の収益向上に取り組みます。	
計画	実施状況・成果
ICT 型自動給餌機の導入による生産工程の自動化によるコストカットを目指す。	ICT 型自動給餌機の補助メニュー策定に向け、県と意見交換を行い、漁協を通じて希望する経営体調査を行う。



【重点取組】付加価値の高い養殖魚づくりに取り組みます。

取組項目	
かぼすブリ、かぼすヒラメをはじめとしたブランド魚の普及、増産に取り組みます。	
計画	実施状況・成果
都市部での販売促進イベントに出展し、普及拡大を図る。	6月に宮城県仙台市に本社を置く、「株式会社仙令平庄」でカボスヒラメ、若武者ハマチを中心とした「九州フェア」を開催。評判がよく、現在も取引が継続している。 11月に福岡市の“たべごろ百旬館”で大分佐伯フェアを開催。2月には西鉄グランドホテルでもフェアを開催し、かぼすブリをはじめとする大分県佐伯市産のブランドブリを多くの方に食べていただいた。3月には、博多大吉寿司（2店舗）でも佐伯フェアを開催した。

○実施にあたっての課題、目標達成の見込み

取組項目	
- フィレ加工等を行う、大分県漁協水産物加工処理施設（蒲江加工場）の整備に取り組みます。 - 国内市場の縮小が懸念されることから、海外の有望なマーケットに対して佐伯産水産物のPR等の輸出対策に取り組みます。	
計画	実施状況・成果
- 大分県漁協水産物加工処理施設（蒲江加工場）の整備を実施する。 - 佐伯市農林水産物等輸出促進協議会 会員と協力して海外に対して販売促進を行う。	- 大分県漁協水産物加工処理施設（蒲江加工センター）が8月に竣工した。 - 同センターの高度利用を目的とした自動選別機、自動締機、出荷調整生簀の整備を2月に実施した。 8月に協議会の会員である佐伯市輸出入協同組合と協力して、台北で「台湾佐伯フェア」を実施し、佐伯産水産物のPRを行った。参加者から見積依頼があり、輸出入協同組合が輸送テストを行った。輸出したサンプルは評価が高く、2月には、佐伯産ブリフィレを通常取引で輸出することができ、新規取引先の開拓に繋がった。



大分県漁協水産物加工処理施設（蒲江加工場）



出荷調整生簀



自動計量選別機器

個別施策２－（３） 環境に配慮した新たな養殖業の推進 （P17）

【目標値】

取組状況	現状値	目標値（下記は実績）			
	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	
カキ類養殖経営体数	６戸	１１戸	１２戸	１３戸	
	６戸	１１戸	１１戸	１８戸	
ヒオウギガイ天然採苗個数	１.８万個	１.５万個	２万個	２.２万個	
	１.８万個	１.５万個	０.６万個	０.２万個	

【重点取組】環境に優しい二枚貝養殖（カキ類、ヒオウギガイなど）を普及します。

取組項目	
・カキ類養殖については、漁労作業の省力化を図るため、バスケット式養殖の普及に取り組みます。 ・ヒオウギガイ養殖については、種苗確保困難なため、天然採苗技術の開発に取り組みます。	
計画	実施状況・成果
・カキ養殖のスタートアップ支援として、養殖用バスケットの貸与事業を行う。	・カキ養殖のスタートアップ支援として、養殖用バスケットの貸与事業について、希望者に対し説明を行った。申込のあった希望者３名に対し、養殖用バスケットの貸出を行った。現在、希望者が各自で種苗を購入し、養殖を開始しており、新規カキ類養殖経営体の増加に繋げることができた。

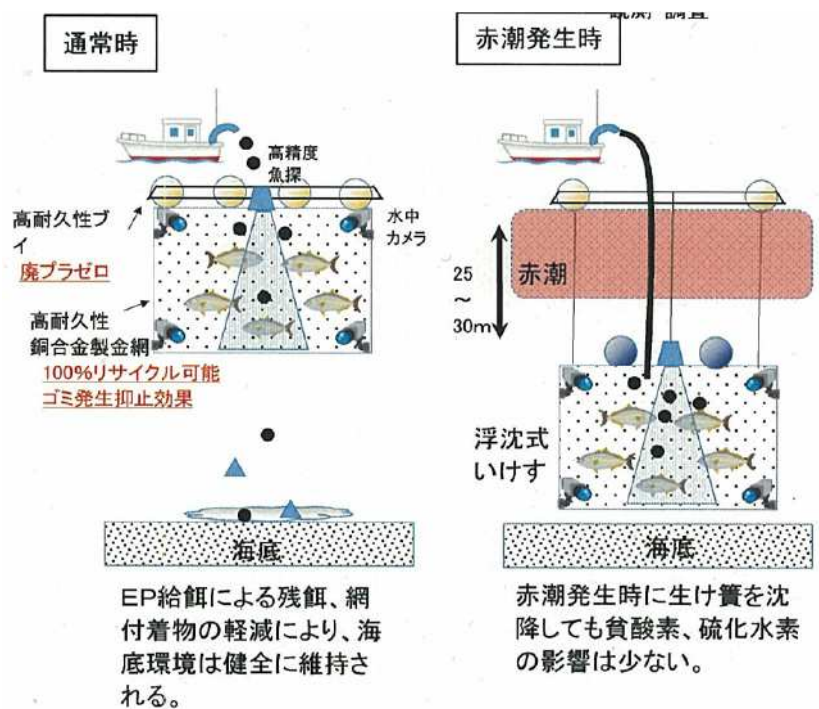
取組項目	
・新規就業しやすい環境づくりを図るため、国内や輸出による出荷形態も含めた二枚貝養殖の経営モデル指標を策定します。	
計画	実施状況・成果
・経営モデルを活用して、希望者に対しカキ養殖のガイダンスを行う。	９月に JF 蒲江支店でカキ養殖スタートアップ支援事業の説明の際に経営モデルを用いた。

○実施にあたっての課題、目標達成の見込み

取組項目	
・二枚貝養殖の普及に向けた各海域での試験養殖に取り組みます。	
計画	実施状況・成果
・カキ養殖スタートアップ支援事業により新規養殖希望者に対し養殖用バスケットを貸与する。 ・入津湾２カ所でカキ養殖の試験を行う。	・カキ養殖スタートアップ支援事業により、試験養殖の開始を希望する漁業者に対し、養殖用バスケットを貸与した。 ・入津湾２カ所でカキ養殖の試験を実施中。

【重点取組】ブリ養殖の赤潮対策及び環境負荷を低減した養殖手法の開発に関する取組を行います。

取組項目	
・ 赤潮などの影響の少ない水深帯での養殖可能となる浮沈式生簀の開発に取り組めます。 ・ 赤潮避難時における中層での給餌方法の実用化に向けた検証に取り組めます。 ・ 環境に配慮した高耐久性のブイ及び銅合金製金網を用いたブリ養殖の実用化に向けた検証に取り組めます。 ・ カキ殻で実証されている底質改良効果についてアコヤガイでの検証に取り組めます。	
計画	実施状況・成果
・ R4 に上浦でブリ養殖業者であるアクア事業所にて、銅合金製浮沈式生簀を設置。 ・ R4～R6 にかけて行われる調査研究を引き続き実施する。	R4 に銅合金製浮沈式生簀を設置。R4 からR6 にかけて、大分県及び関係機関がブリの遊泳行動監視等の調査研究を行う。現在は、各種データを測定・分析。



基本施策3 担い手の確保と育成

個別施策3－（１） 新規就業者の確保 （P19）

【目標値】

取組状況	基準値	目標値（下記は実績）			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
新規就業者数	26人	26人	27人	27人	
	26人	32人	28人		

【重点取組】各種就業フェアに参加し、雇用機会の創出に取り組みます。

取組項目	
・本市漁業の魅力と具体的な就業情報を提供するため、漁業就業希望者に対する説明資料やPR動画を作成します。 ・都市部で開催される『漁業就業フェア』・『移住フェア』などに出向き、本市漁業の魅力をPRするとともに、就業希望者との面接機会を増やして新規就業者の確保に取り組みます。	
計画	実施状況・成果
・都市部で開催される『移住フェア』において、希望者に対し本市水産業の説明等を行う。	以下就業フェアにおいて、水産業の説明等を行った。・7月20日「おいでや！いなか暮らしフェア2024 in 大阪」 ・9月7日「大分県移住相談会 in 大阪」
取組項目	
・人材確保のため県内高等学校などと連携し、インターンシップに取り組みます。	
計画	実施状況・成果
・市内の養殖会社において高校生のインターンシップを実施予定。	・2月に大分県が主体となって高校生の水産業インターンシップを実施した。。受け入れ事業所は、西南水産・JF 蒲江加工場。参加者は大分県立海洋科学高校の1年生10名。

【重点取組】新規就業者の就業知識の習得や経営支援に取り組みます。

取組項目	
・大分県漁業学校などの研修支援に取り組みます。 ・新規就業者の定着促進を図るため、経営が不安定な就業後間もない時期に、初期投資などに関する負担軽減のため、給付金の支給に取り組みます。 ・新規就業希望者に対し、技術指導や研修先の紹介などを行います。	
計画	実施状況・成果
・新規就業希望者に大分県漁業学校への研修支援、また、就業相談対応を実施する。	・4月、新規就業希望者1名（陸上養殖）が大分県漁業学校に入校し、研修を開始した。令和7年3月25日修了予定。

個別施策3-（2） 担い手の育成 （P20）

【目標値】

取組状況	基準値	目標値（下記は実績）			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
学校などでの料理教室、水産教室の開催	3回	5回	3回	3回	
	3回	6回	4回	6回	
後継者向けの研修会の開催	1回	1回	1回	1回	
	1回	1回	1回	1回	

【重点取組】水産業の将来を担う人材育成に取り組めます。

取組項目	
・漁業後継者団体は、各種研修活動や水産振興活動に取り組めます。	
計画	実施状況・成果
管内8支店の漁協青年部を中心に水産振興活動を実施する。 ・各種イベントへの参加 ・海岸清掃活動	・各種イベントへの参加予定 10月 上浦食祭りに出店。 米水津おさかな祭りに出店。 11月 佐伯みなとお魚フェスタに出店。 東九州大漁祭・つるみ豊魚祭に出店。 ・海岸清掃活動 漁協7支店で実施予定。

取組項目	
・次世代の水産業を担う子供たちに水産業の魅力を伝える取組をします。	
計画	実施状況・成果
学校給食を通じて、子供たちに佐伯市産水産物の美味しさを知ってもらうとともに、水産業の魅力を伝える取組「食べて学ぼう！さかなの日」を実施する。	「食べて学ぼう！さかなの日」を市内統一で実施した。 ・佐伯市内の全小学校、中学校、公立幼稚園及び県立佐伯支援学校の学校給食で、佐伯市産水産物を使ったメニューを計4回（延べ約20,000食）実施した。 ・ポスター、動画による魚及び水産業の紹介を行った。 ・10/15（火）に佐伯市立切畑小学校において、生産者（養殖ブリ生産者：富田恵義氏ほか）を招いた水産教室を行った。 ・対象魚種 10月：ブリ、11月：ニベ、12月：キビナゴ、1～2月：カマス

基本施策4 水産物の販路拡大

個別施策4-（１） 魚食普及と都市部へのブランド発信 （P21）

【重点取組】地元での消費拡大のため、魚食普及活動に取り組みます。	
取組項目	
・小中学生、高校生等を対象にした魚のさばき方教室	
計画	実施状況・成果
・蒲江翔南学園、米水津中学校2年生、鶴見中学校、松浦小学校、別府溝部学園にて魚の捌き方教室を実施する。	11月 蒲江翔南学園 6、7年生（アジ） 1月 鶴見中学校1年生 米水津中学校2年生（ブリ） 2月 蒲江翔南学園 7年生（ブリ） 2月 別府溝部学園食物栄養学科の生徒

【重点取組】都市部へ向けて、佐伯産水産物の魅力を発信する取組を行います。	
取組項目	
・全国農林水産祭等での販売促進活動 ・都市部でのイベント、店舗等への食材の提案	
計画	実施状況・成果
・大分県水産加工協議会等と連携し、水産加工品の消費拡大を図る。 ・市ブランド推進課と連携し、福岡市、東京でのイベント出店による佐伯産品の消費拡大を図る。	・6月に大阪に本社を置く「大起水産株式会社」にて佐伯産魚のPRを行った。フェア等での使用を検討してくれることとなった。 ・11月1日～2日に東京都で開催された全国農林水産祭にて佐伯産干物のPR活動を行った。 ・11月15～16日に福岡の業務用生鮮販売店であるたべごろ百旬館で飲食店向けにかぼすブリフィレとヒオウギ貝の特別販売を行った。 ・11月～3月に都市部である福岡の西鉄ホテル、たべごろ百旬館、九州博多大吉寿司でフェアを開催した。

個別施策4-（2）水産加工品の普及（P22）

【目標値】

取組状況	基準値	目標値（下記は実績）		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
干物体験教室の実施	6回	6回	6回	6回
	6回	6回	6回	
水産加工品を活用したレシピ開発	0個	1個	1個	1個
	0個	1回	0個	

【重点取組】幼少期からの魚食普及や子育て世代に向けた加工品を使用した新しい調理法の開発などの活動に取り組みます。

取組項目	
- 干物七輪焼き体験教室の開催 - 食育推進協議会等との連携	
計画	実施状況・成果
- 魚食普及の取組として市内5校市外1校の小学校において干物七輪焼き体験を実施する。 - また、杵築市、竹田市、豊後大野市の延べ8会場においてお魚料理教室を実施する。	- 魚食普及の取組として市内5校、市外1校にて干物七輪焼き体験を実施した。 9月19日 佐伯市立渡町台小学校 9月26日 佐伯市立宇目緑豊小学校 11月21日 佐伯市立下堅田小学校 11月27日 佐伯市立木立小学校 12月6日 佐伯市立佐伯東小学校 - 市外校 12月20日 由布市石城小学校 - 杵築市、竹田市、別府市、宇佐市、臼杵市の延8会場においてお魚料理教室を実施。

【重点取組】多様化する消費者ニーズに対応した商品開発に取り組みます。

取組項目	
高校生による新商品の提案	
計画	実施状況・成果
水産加工品の商品開発に取り組む。	- 日本文理大学と別府大学と共同して、干物を使った新メニューの開発と新商品の開発を行った。 2月 文理大学（桜ホール） - 別府大学（道の駅みえ） 3月 別府大学（桜ホール）

個別施策4-（3）水産物の輸出拡大（P22）

【重点取組】水産物の輸出を促進するため、佐伯市農林水産物等輸出促進協議会と連携し、各種活動に取り組みます。

取組項目	
・ 経済成長中の東アジアや東南アジア諸国を中心に販路を開拓していきます。 ・ 輸出相手国の食文化やニーズ及び流通形態を把握するため、海外で行われる食イベントなどに参加し、佐伯産品を売り込みます。	
計画	実施状況・成果
・ 佐伯市農林水産物等輸出促進協議会会員である大分県漁協協同組合は韓国、台湾、中国での販路開拓活動を予定。 佐伯市輸出入協同組合は台湾での販売促進活動、シングルシード協議会は東京シーフードショーに参加する予定であり、活動を支援していく。	・ 佐伯市農林水産物等輸出促進協議会会員の活動について支援及び補助を行った。 ・ 佐伯市輸出入協同組合が台湾で「台湾佐伯フェア」を行い、漁協は、台北の百貨店において佐伯産のブリの試食のよるPRを行った。フェア終了後、参加者から見積依頼があり、輸出入協同組合が輸送テストを行った。輸出したサンプルは評価が高く、2月には、佐伯産ブリフィレを通常取引で輸出することができ、新規取引先の開拓に繋がった。



台湾の百貨店でのPR



佐伯産品を使用した試食会

基本施策5 共同利用施設の整備

個別施策5-（１） 漁業の実情に則した施設の整備（P23）

【目標値】

取組状況	基準値	目標値（下段は実績）		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
広域浜プランの改訂	—	1	—	—
	—	1	1	—

【重点取組】 漁業者が利用しやすい効率的で効果的な施設の整備に取り組みます。

取組項目	
・ 浜プランに計画されている製氷施設や冷凍貯蔵施設及び水産加工施設などの整備について、優先順位をつけて計画的に取り組むとともに、民間活力の導入による施設整備についても検討します。 ・ 切れ目なく次期浜プランに移行するため、改定時期となっている地域浜プランの策定に取り組みます。	
計画	実施状況・成果
・ 第2期浜の活力広域プラン（令和3年度～令和7年度）に基づき、漁協共同利用施設の整備に対して支援を行う。 【沿構・沿整事業】 漁協蒲江支店製氷・貯氷施設の整備に向けた調整を行う。（令和7年度事業）	第2期浜の活力広域プラン（令和3年度～令和7年度）に基づき、漁協共同利用施設の整備に対して支援を行った。 【沿構】 ・ 水産加工処理施設（蒲江加工センター）整備が、（令和6年8月竣工）した。 ・ 漁協蒲江支店製氷・貯氷施設の整備に向けた調整（令和7年度 実施予定）を行った。



8月24日竣工

JF おおいた蒲江加工センター
年間取扱目標数 50万尾

基本施策6 公設卸売市場の環境整備

個別施策6-（１） 市場施設の環境整備（P26）

【重点取組】葛港市場及び鶴見市場の再整備に向けた取り組みを行います。

取組項目	
【葛港市場】佐伯市市街地グランドデザインに示された賑わいづくりとあわせて方向性を整理し、民間活力を入れた整備を行います。 【鶴見市場】国・県等の補助事業の採択を前提に、市場の効率的な整備・運営が見込める事業スキームについて検討します。 施設配置や動線、規模、運用方法、品質、衛生管理の水準ついて、現場レベルで検討を行い、望ましい施設のあり方を示唆していきます。 法改正や時代の要請に対応し、衛生管理・品質管理等の徹底を進めます。	
葛港市場の検討状況	鶴見市場の検討状況
5月 市場現場説明会 佐伯鮮魚仲買人組合総会出席 市場補償費に係る協議 6月 佐伯鮮魚仲買人組合と意見交換 佐伯魚市場総会出席 7月 建物等調査業務委託契約 8月 葛港市場機能検討会 佐伯鮮魚仲買人組合と意見交換 10月 株式会社佐伯魚市場・大分県漁協佐伯支店・佐伯市による3者協議 1月 葛港市場機能検討会 公設市場の廃止通知発送	5月 基本設計業務委託契約 コンサルタント、鶴見支店との協議 6月 先進地市場視（宇和島・八幡浜市場） 水産庁協議（大分県・佐伯市） 随時 設計業務コンサルタントと漁協鶴見支店との協議 10月～ 鶴見市場関係者協議 概算事業費の算出 11月 水産庁秋要望提出 1～2月 基本設計策定 2月 大分県漁協県南地区運営委員長会へ進捗状況報告 【今後の予定】 令和7年度 実施設計 令和8年度～工事開始（11年度中竣工予定）

基本施策 7 管理漁港の機能保全と強化及び漁港施設の新設

個別施策 7- (1) 漁港施設の長寿命化 (P29)

【重点取組】老朽化が進む漁港施設を計画的に補修・補強します。	
取組項目	実施状況・成果
- 水産物供給基盤機能保全事業 (対象漁港) 羽出漁港 - 海岸保全施設整備事業 (対象漁港海岸) 入津漁港海岸 西野浦地区	- 羽出漁港 全体計画 物揚場(保全) L=51.8m 令和 6 年 6 月に工事発注し、物揚場 L=51.8m の保全工事(C=42,900 千円)が令和 7 年 2 月に完成。令和 5 年度工事着手、本年度事業完了。 - 入津漁港海岸西野浦地区 全体計画 護岸(保全) L=271.8m 令和 6 年 8 月に工事発注し、護岸の防食工事 L=32.4m(C=35,001 千円)が令和 7 年 1 月に完成。令和 5 年度事業着手、令和 9 年度事業完了予定。

個別施策 7- (2) 漁港施設の機能強化 (P29)

【重点取組】台風などによる高波被害が予想される漁港施設及び地震・津波に対して十分な安全が確保されていない漁港施設について機能強化・防護対策を行います。	
取組項目	実施状況・成果
漁港施設機能強化事業 (対象漁港) 元猿漁港	全体計画 防波堤(改良) L=145.8m 令和 6 年 6 月に工事発注し、防波堤の消波工 L=6.3m (C=17,101 千円)が令和 6 年 9 月に完成。平成 26 年度事業着手、本年度事業完了。

個別施策 7- (3) 漁業活動と関連する漁港の一体的な整備 (P30)

【重点取組】漁港泊地内の静穏度を向上させ漁業活動への安全性を確保するため、防波堤を新設します。	
取組項目	実施状況・成果
長田地区水産生産基盤整備事業 (対象漁港) 長田漁港	全体計画 防波堤 L=150m 防波堤工事を令和 6 年 6 月に発注し、本体工 L=20.0m・消波工 L=42.2m のブロック製作(C=63,319 千円)が令和 6 年 10 月に完成。 その 2 工事を令和 6 年 9 月に発注し、基礎・本体・根固・上部・消波工 L=47.0m (C=94,982 千円)が令和 7 年 3 月に完成。 その 3 工事として、本体工 L=10m・上部工 L=6 mを令和 7 年 3 月に発注し、8 月に完成予定。平成 30 年度事業着手、令和 10 年度事業完了予定。

【重点取組】 漁業活動の効率化を図るため、物揚場や道路及び用地を新設します。

取組項目	実施状況・成果
猿戸地区地域水産物供給基盤整備事業 (対象漁港) 猿戸漁港	令和 6 年 9 月に工事発注し、岸壁 L=5.4m・道路 L=89.2m・用地 A=1296 m ² (C=25,001 千円)が令和 7 年 2 月に完成。平成 22 年度事業着手、本年度事業完了。

個別施策 7- (4) 流木等の漂着物の回収・処理 (P30)

【重点取組】 台風や大雨などにより発生した流木やプラスチック等の漂着物が、漁業活動の支障にならないように、回収・処理を行います。

取組項目	実施状況・成果
海岸漂着物回収・処理事業 (対象漁港) 佐伯市全域	・台風等の影響により、大量のゴミが漁港及び海岸に漂着し、漁業活動の支障となるため、回収・運搬・処理を行う。 ・鶴見地区クリーンアップ事業（振興局実施）を実施。令和 6 年度は、業者による回収・運搬業務の実績なし。 ・鶴見大島地区に仮置きしていた令和 4・5 年度分の漂着ゴミを仮置場（最終処分場）へ運搬（回収、海上・陸上運搬）。 ・令和 6 年台風 10 号災害に伴う漂着ゴミの回収・運搬業務を実施。回収した漂着ゴミを仮置場（最終処分場）へ運搬。 ・令和 6 年度に回収、運搬した漂着ゴミ（最終処分場に仮置き分）を、予算の範囲内で 106.75 トンを処分。残りの約 200 トンを令和 7 年度に処分予定。

個別施策 7- (5) 漁港区域内における放置艇対策 (P30)

【重点取組】 放置艇は、船舶航行の支障、漁業活動への支障などの問題を引き起こすことから、漁協と協力して漁港内の適正化に取り組みます。

取組項目	実施状況・成果
放置艇対策事業 (対象漁港) 佐伯市が管理する 35 漁港	・係留等指定施設使用許可に関する業務。 R6.6.30 現在、165 隻の係留許可。 ・所有者不明による放置艇を公費により撤去を行う。令和 6 年度の公費による放置艇撤去なし。 ・船舶所有者が申請や撤去等に応じない場合は、佐伯海上保安署と連携し対応を行っている。